

平成30年度 分科会施策の管理シート

分科会名	長寿サポート分科会	会長	多田 敦彦
------	-----------	----	-------

重点項目	人材育成の支援と在宅での看取り促進に資する 住民啓発	数値目標	【達成時期】平成30年度末	分科会事務局	長寿支援課
			【目標値】研修会・セミナー参加者数の増加。住民啓発セミナー参加者数の増加。		

期 初(前年度末まで)	期 中(~9月)		期 末(~2月)・・・進捗・評価は見込で可		次年度へ 課題、 進捗管理継 続の要否 等	
	分科会事務局 施策の進捗状況	分科会の意見 見直し、課題、助言等の内容	分科会事務局 実績及び成果に係る自己評価 評価	分科会の評価 達成度・成果について 評価		
1	<b>【施策名・概要】</b> <b>【実行する内容】</b> 在宅看取り促進に資する住民啓発 高齢者肺炎予防セミナーや定期巡回・随時 対応型訪問介護看護普及啓発のように「予 防」から「看取り」までの啓発を継続実施し、 住民の意識変革を図る。	<b>選定した理由</b> どのような必要性に基づくの か 等 医療・介護人材が不 足する中、高齢者や 家族自身が在宅看取 りに対する心構えを 持ち、理解を促進す るための住民啓発が 必要。	<b>目指す成果</b> 施策を実行した結果、どういった成果が 現れる(水準、状態等を数値で)、その検 証方法 等 住民啓発のセミナー参加者数(4 回開催、438名の参加)の増加。			
2						
3						
4						
5						

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。  
 施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
  - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、  
 望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
  - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。  
 評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
  - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項				
------	--	--	--	--